



Hello 峰山



市HP内掲載記事へ

	R2.12末	前月比	R2.11末
0歳～14歳	1,448	-11	1,459
15歳～64歳	6,702	3	6,699
65歳～	3,904	-12	3,916
合計	12,054	-20	12,074

金刀比羅神社で“どんど焼き” 無病息災、炎に願う

1月14日、金刀比羅神社では、古い御札や御守りに感謝の意を込めてお焚き上げを行う古神札焼納祭を兼ね、正月飾りなどを焼くどんど焼きが行われました。年神を炎と共に見送るといふ意味があると言われ、その灰を家にまくと厄除けになると言われています。

地元の住民をはじめ、町外からも持ち寄られた飾りや御札、人形などを焼く、無病息災を祈願されました。宮司の脇阪さんは「昔に比べ、どんど焼きをする地域も少なくなつた。このようなご時世だからこそ、こうした神事はこれからも続けていく」と語りました。



どんど焼きのようす（金刀比羅神社境内）

小西川改修工事が国事業に採択 災害に強いまちへ前進！

峰山地区河川整備等まちづくり促進協議会は、峰山地区を流れる河川の水害から住民を守るとともに住みやすいまちづくりに向けて、関係機関への要望活動や環境美化活動を約10年間にわたって行っています。

その長年の活動が実を結び、念願の小西川改修工事が国の大規模特定河川事業に採択されました。工事区間は、昨年

度開通した井柙の尻橋より上流の260mにわたります。護岸工事や河床掘削工事、3つの橋梁の架け替え、井堰の移設更新などを、今後7年かけて行います。

これまでにない早さで改修が進み、地域が安心して暮らせるまちへ大きく前進します。



早苗橋から朝日橋を望む



7年間かけてこの区間を整備

今後自分たちの地域を守り続ける住民自治の力強い活動が続いて行きます。

管理栄養士・関奈央弥の食育コラム① 現代の食環境について考えてみよう



地域おこし協力隊の関です。今月より複数回、『食育』についてのコラムをお届けいたします。

今回のお題は、『現代の食環境』について。皆さんは『飽食の時代』と言われていることを知っていますか。コンビニやスーパーなどで24時間食べ物を買うことができ、加工技術の進歩により、長期保存できる食べ物を安価に入手ことができ、グローバル化により日本にいな

も世界中の食べ物を食べることができる、そんな時代です。

現代では100年前と比べて圧倒的に摂取する食品の数が増えており、今後も増加が予想されます。その豊富な選択肢の中から1日3回の食事は何を食べるかによって、『健康』『環境』『経済』等、身の回りの様々な事に大きく関わってきます。豊かな時代になったからこそ、食事による影響を理解し考えること、すなわち『食育』に取り組む必要があると考えています。次号では「丹後で行う食育の可能性」についてお話いたします。